

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本史（Japanese History）		
ナンバリングコード	E21511	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目／標準レベル
単位数	2	配当学年／開講期	2 年／後期
必修・選択区分	選択：教職 教職関係科目（必修）：中学校教諭一種免許状（社会） ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK00151	クラス名	-
担当教員名	甘利 弘樹		
履修上の注意、履修条件	授業出席が必須です。本授業は教職科目ですので、教員養成を前提に授業をします。そのため、時間厳守・連絡徹底など、社会人としてのマナーを求めます。約束事やルール・マナーを守れない学生は、成績評価を減点します。なお、授業時の座席は授業に支障が生じた場合に指定します。また、配布資料について、毎回の授業で持参してもらいます。欠席して配布資料を受け取れなかった人は、授業担当教員に自己申告して指示を受けてください。配布資料を紛失した場合の再配布はありません。その他、同時期に開講される外国史を併せて受講することを勧めます。		
教科書	特に指定しません。		
参考文献及び指定図書	授業中に指示します。		
関連科目	外国史		

○基本情報		
授業の目的	本授業は、中学校社会科免許取得の必修科目であることから、「中学校学習指導要領」に基づき、かつ社会科（歴史的分野）を教授していくために必要な知識を身に付け、実践してもらいます。そして中学校社会科の範囲における国家・地域や時代を学びながら、特に日本の歴史について理解し、知識を持つことによって、社会科教員としての資質能力を高めることが大きな目的です。また、本学のディプロマポリシーに対応して、文化・伝統についての幅広い視野を涵養すること、グループワーク等のアクティブ・ラーニングを通して、日本史の専門知識を活用するための技能とプレゼンテーション能力を育成すること、ならびに課題解決型授業をふまえ、課題解決において多角的かつ柔軟な思考力をもてることを目的とします。	
授業の概要	中学校社会科の範囲における日本の歴史について考察します。2017年に告示された最新の「中学校学習指導要領」では、「主体的・対話的で深い学び」が前提とされ、内容・内容の取り扱いに変化が見られるなど、授業方法も従来と異なる多様なものが必要となっています。本授業では、より有効な歴史の授業を行うために、我が国の歴史の動きを、最新の研究成果をもとに整理・分析し、併せて効果的とされる授業方法についても考えていきます。なお、本授業では、課題解決型学習・プレゼンテーションを継続的に行い、グループワーク等を適宜取り入れるアクティブ・ラーニング型授業を実施します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	甘利弘樹 本授業の日本史学修に関する実務経験として、嘉悦女子中学校・高等学校において非常勤講師として高校日本史担当教員に従事。また、大分リハビリテーション専門学校において非常勤講師として医学史をテーマとした歴史学の授業担当教員に従事。	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	歴史学・歴史教育に対する関心・意欲を高めた上で、教員として使命を持って授業を担当できる態度を形成する。		5点	10点
【知識・理解】	中学校社会科の授業を遂行するために必要な日本の歴史の知識（高等学校日本史程度）を修得している。日本の歴史を教授するために必要な授業方法を理解できている。	40点	5点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	教材となる様々な資料を適切に収集・分析し、有効な歴史の授業を実施できる技能を修得している。		5点	10点
【思考・判断・創造】	日本の歴史を多面的・多角的視点から教授できるようになるとともに、より効果的な授業を行うために知識や技能の応用ができる。		5点	10点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
原則として、毎回の授業の冒頭に、予習した内容をまとめた小レポートを、提出してもらいます（プレゼンテーションの時は、そのレジュメ＝報告原稿で代替）。また、毎回の授業の最後に、習得した知識・考え方等を小レポートにまとめ、提出してもらいます。本レポートによって、中学校社会科の授業を遂行するために必要な能力・姿勢が形成されたかをみます。なお、提出されたレポートは、次回以降の授業で返却します。 授業中に担当教員から出された質問に対して、必ず回答をしてもらいます。回答の優れた学生には、相応の加点をすることがあります。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	日本史（Japanese History）	授業コード	EK00151
	担当教員	甘利 弘樹		
学修内容				
1. オリエンテーション 日本史を学ぶ意義、中学校学習指導要領(社会科)の内容、授業の進め方など教員になることの職業意識について説明します。				
	予習	中学校学習指導要領(社会科)の「歴史的分野」の部分を読み、要点をまとめておく。		約2時間
	復習	予習・授業の内容を振り返り、中学校における歴史の授業で教授すべき内容を、文章にまとめる。		約2時間
2. 古代日本に関する調査と研究 卑弥呼・聖徳太子・聖武天皇・藤原道長に関する調査とプレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	上記人物とその時代について、高校日本史探究教科書の該当部分や他の書籍に基づき要点をまとめる。		約2時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における縄文時代～古墳時代の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
3. 古代日本の人物とその時代 卑弥呼・聖徳太子・聖武天皇・藤原道長に関するプレゼンテーションを通して、古代日本の政治と社会について学びます。				
	予習	プレゼンテーション用の原稿を作成する。		約3時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における中世日本の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
4. 中世日本に関する調査と研究 源頼朝・北条時宗・足利義満・大友義鎮(宗麟)に関する調査とプレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	上記人物とその時代について、高校日本史探究教科書の該当部分や他の書籍に基づき要点をまとめる。		約2時間
	復習	予習の内容及び授業の内容から、中学校における鎌倉～戦国時代の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
5. 中世日本の人物とその時代 源頼朝・北条時宗・足利義満・大友義鎮(宗麟)に関するプレゼンテーションを通して、中世日本の政治と文化について学びます。				
	予習	プレゼンテーション用の原稿を作成する。		約3時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における中世日本の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
6. 中世～近世移行期に関する調査と研究 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に関する調査とプレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	上記人物とその時代について、高校日本史探究教科書や他の書籍に基づき要点をまとめる。		約2時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における安土桃山時代の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
7. 近世移行期日本の人物とその時代 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に関するプレゼンテーションを通して、中世～近世移行期における日本の政治と社会について学びます。				
	予習	プレゼンテーション用の原稿を作成する。		約3時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における安土桃山時代の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
8. 近世前期日本に関する調査と研究 徳川家光・徳川綱吉・新井白石に関する調査とプレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	上記人物とその時代について、高校日本史探究教科書や他の書籍に基づき要点をまとめる。		約2時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における江戸時代前期の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間

○授業計画	科 目 名	日本史（Japanese History）	授業コード	EK00151
	担当教員	甘利 弘樹		
学修内容				
9. 近世前期日本の人物とその時代 徳川家光・徳川綱吉・新井白石に関するプレゼンテーションを通して、近世前期日本の政治と文化について学びます。				
	予習	プレゼンテーション用の原稿を作成する。		約3時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における近世前期日本の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
10. 近世後期日本に関する調査と研究 徳川吉宗・田沼意次・松平定信・水野忠邦に関する調査とプレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	上記人物とその時代について、高校日本史探究教科書や他の書籍に基づき要点をまとめる。		約2時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における江戸時代後期の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
11. 近世後期日本の人物とその時代 徳川吉宗・田沼意次・松平定信・水野忠邦に関するプレゼンテーションを通して、近世後期日本の政治と社会について学びます。				
	予習	プレゼンテーション用の原稿を作成する。		約3時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における近世後期日本の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
12. 近代日本に関する調査と研究 西郷隆盛・伊藤博文・福澤諭吉に関する調査とプレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	上記人物とその時代について、高校日本史探究教科書や他の書籍に基づき要点をまとめる。		約2時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における幕末～明治時代の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
13. 近代日本の人物とその時代 西郷隆盛・伊藤博文・福澤諭吉に関するプレゼンテーションを通して、近代日本の政治と文化について学びます。				
	予習	プレゼンテーション用の原稿を作成する。		約3時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における近代日本の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
14. 近現代日本に関する調査と研究 犬養毅・石橋湛山・吉田茂・佐藤栄作に関する調査とプレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	上記人物とその時代について、高校日本史探究教科書や他の書籍に基づき要点をまとめる。		約2時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における大正時代以降の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
15. 近現代日本の人物とその時代 犬養毅・石橋湛山・吉田茂・佐藤栄作に関するプレゼンテーションを通して、近現代日本の政治・社会・文化について学びます。				
	予習	プレゼンテーション用の原稿を作成する。		約3時間
	復習	予習・授業の内容から、中学校における現代日本の授業で教授すべき内容をまとめる。		約2時間
16. 期末試験				
	予習			
	復習			